

大島商船高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	蒸気工学		
科目基礎情報							
科目番号	0258	科目区分	専門 / 必修				
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1				
開設学科	商船学科	対象学年	5				
開設期	後期	週時間数	2				
教科書/教材	蒸気タービン要論 角田哲也 / 自作プリント						
担当教員	山口 康太						
到達目標							
(1) 蒸気タービンの構造と作動原理が理解でき、説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	蒸気タービンの構造と作動原理が理解でき、説明できる。	蒸気タービンの構造と作動原理が理解できる。	蒸気タービンの構造と作動原理が理解できない。				
評価項目2							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	船用蒸気タービンプラントの構成要素のうちの蒸気タービンについてこの授業で学習します,						
授業の進め方・方法	講義は教科書を中心に実施します。教科書の範囲と配布プリントをあわせて定期試験の出題範囲とします。課題はレポートとして提出を義務を課します。						
注意点	蒸気に関する用語等は復習しておくこと。						
授業の属性・履修上の区分							
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応			
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業							
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
後期	3rdQ	1週	蒸気の性質	蒸気の性質について理解できる。			
		2週	蒸気タービン	蒸気タービンについて理解できる。			
		3週	蒸気タービンの熱サイクル	蒸気タービンの熱サイクルについて理解できる。			
		4週	蒸気タービン各部の構造と作用 (ノズル)	蒸気タービン構成要素であるノズルの構造と作用について理解できる。			
		5週	蒸気タービン各部の構造と作用 (車室)	蒸気タービン構成要素である車室の構造と作用について理解できる。			
		6週	蒸気タービン各部の構造と作用 (仕切り板)	蒸気タービン構成要素である仕切り板の構造と作用について理解できる。			
		7週	蒸気タービン各部の構造と作用 (気密装置)	蒸気タービン構成要素である気密装置の構造と作用について理解できる。			
		8週	中間テスト				
	4thQ	9週	蒸気タービン各部の構造と作用 (タービン軸受け)	蒸気タービン構成要素であるタービン軸受けの構造と作用について理解できる。			
		10週	蒸気タービン各部の構造と作用 (後進タービン)	蒸気タービン構成要素である後進タービンの構造と作用について理解できる。			
		11週	復水装置	復水装置の原理について理解できる。			
		12週	減速装置 I	蒸気タービン構成要素である減速装置の構造について理解できる。			
		13週	減速装置 II	減速装置の原理について理解できる。			
		14週	たわみ軸受け	たわみ軸受けの構造及び原理について理解できる。			
		15週	調速装置	蒸気タービンの調速装置について理解できる。			
		16週	期末テスト				
評価割合							
	試験	レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	30	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0